

研究会「長期予報と大気大循環」のご案内

「長期予報研究連絡会」では下記の予定で研究会「長期予報と大気大循環」を開催します。

今年のテーマは「2018年夏の異常な天候と大気循環」としました。2018年夏は、7月上旬に西日本から東海地方で発生した「平成30年7月豪雨」を中心に各地で記録的な大雨となりました。また、関東甲信地方の記録的に早い梅雨明け（統計開始1951年）やその後の東・西日本を中心とした異常高温など、各地で異常な天候となりました。

今回の会合では、これら2018年夏にみられた様々な天候をもたらした背景について議論することになります。事例解析に限らず、年々変動や地球温暖化の寄与など、幅広い観点からの話題提供を歓迎します。

講演の申し込み締め切りは2018年11月2日（金）です。講演を希望される方は、下記連絡先まで電子メールで簡単な要旨（テキスト数行程度以上）をお送りく

ださい。1講演あたりの講演時間は20分程度を予定しています。また、発表された方には、研究会後に当会のホームページに掲載する要旨（A4、4ページ程度）を作成していただきます。

なお、講演のプログラムは2018年11月26日（月）までに当会のホームページに掲載する予定です（<https://www.metsoc.jp/about/research-groups/longforc>）。

記

日時：2018年12月12日（水）14時00分～17時30分

場所：気象庁3号庁舎2階 3023会議室

テーマ：2018年夏の異常な天候と大気循環

連絡先：平井雅之、萬納寺信崇、千葉丈太郎
(気象庁気候情報課, extreme@met.kishou.go.jp)